

＜対策のポイント＞
米粉の需要拡大や飼料用米を活用した畜産物等のブランド化等の取組を支援します。

- ＜政策目標＞
- 米粉用米等の生産を拡大（米粉用米10万トン〔平成37年度まで〕）
 - 飼料用米を活用した畜産物等のブランドの確立による売上増加（5年間で10%）

＜事業の内容＞

1. 戦略作物生産拡大支援事業

輸出を含めた日本産米粉の需要拡大等支援

ノングルテン米粉や用途別基準に適合する高品質な日本産米粉の流通が始まることから、輸出を含めた日本産米粉の需要拡大に向けた取組等を支援します。

- ・米粉用米生産者と製造事業者とのマッチング
- ・ノングルテン米粉の製造手法マニュアルの作成
- ・日本産米粉の優位性の情報発信 等

2. 米活用畜産物等ブランド化推進事業

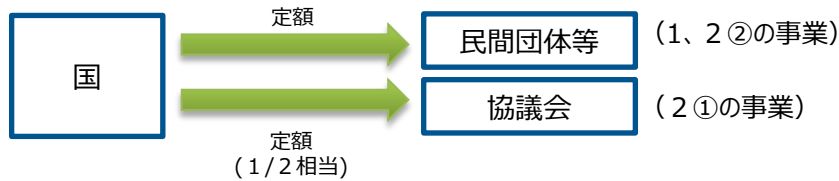
①米活用畜産物等ブランド展開事業

米を利用した新たな食品のブランド展開による米の需要拡大を図るため、飼料用米を活用した畜産物等のブランド展開の取組を支援します。

②米活用畜産物等全国展開事業

飼料用米を活用した畜産物等の認知度向上や、販路開拓のための取組等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

【輸出を含めた日本産米粉の需要拡大支援】

産地段階	製造段階	流通段階
【米粉用米産地の育成】 米粉用米生産者と米粉製造事業者とのマッチング、米粉向け栽培技術等の普及	【ノングルテン米粉製造の支援】 海外のグルテンフリー表示よりも基準が厳しいノングルテン米粉の製造を後押しする製造手法マニュアルの作成 	【日本産米粉の優位性の確立】 海外の競合品と比較した日本産米粉の加工性や機能性等の優位性の分析・情報発信等

【米活用畜産物等ブランド化推進事業】

①米活用畜産物等ブランド展開事業 ブランド展開の戦略策定に係る検討会の開催や販売促進のためのPR活動 	②米活用畜産物等全国展開事業 飼料用米を給与した畜産物のロゴマークの普及や商談会の開催
--	---